

平成 24 年度 室内環境学会第5回役員会議事要旨

日 時：平成 24 年 12 月 14 日（金）15:00～16:30

場 所：東海大学高輪キャンパス 1 号館 2 階会議室

出席者：小野、中井、東、関根（以上実出席）、篠原、柳沢、樺田、濱田（委任出席）、佐藤（代理出席）

監 事：斎藤

事務局：中島、松木、色摩

欠 席：雨谷、柳、野崎

オブザーバー：山口、神野、水越、野口

議事次第：

冒頭に関根大会長より、翌日からの大会に関し、会場の説明や受付に関する連絡事項が伝達された。

1) 平成 24 年度事業報告

小野会長より報告があった。会員数は正会員、法人会員、学生会員ともに減少した一方、今年度の学会誌の発刊、ニューズレターの配信、役員会・評議員会の開催、他学会等の後援・協賛は例年通り行われたことが報告された。特に今年度は、講演会の開催が 2 回となったこと、J-STAGE での学会誌の公開を開始したこと等の活動が報告された。これに対し、年会費未納の場合の扱いについて質問があり、2 年間の未納の場合は会員資格停止となり、送本が停止されるが、遡って入金があれば会員資格は即時復活する旨の回答があった。

2) 委員会等報告

学術委員会：東委員長から報告があった。調査研究助成制度により 2 件、総額 20 万円の助成を初めて行ったこと、HP に Indoor Air 誌掲載論文タイトルの和訳掲載を開始したこと、日本建築学会と連携した燃焼器具ガイドライン作成 WG が活動していることその他、今年度の学生懇談会について報告された。

化学物質分科会：関根世話人から報告があった。分科会会合を 4 月に開催した他、研究成果が 2 件、誌上発表されたと報告された。

燃焼器具分科会、微生物分科会、地域文化財保全分科会：いずれも文書により報告があった。

出版委員会：関根委員長より報告があった。学会誌を計画通り 2 号発行した他、Journal@rchive と J-STAGE の統合により、前身誌を含めすべての巻号がオンライン上で閲覧可能となったこと、2 名の学会賞査読者賞の選考結果及び学会誌の年 4 回発行についての検討を開始した旨が報告された。

標準化委員会、事業委員会：小野会長より文書により報告された。

広報委員会：篠原委員長に代わり水越委員から報告があった。今年度は HP の更新・修正を進めたほか、諸外国における関連研究情報の掲載を学術委員会と連携して行っていること、バナー広告は現在 6 社と契約していること、学会紹介ポスターを作成して配布したことなどが報告された。

社会連携委員会：中井委員長より、法人会員の満足度調査を実施した結果について報告があり、本日（12 月 14 日）法人会員との懇談会を開催するので役員も参加してほしい旨の依頼があった。Q&A については 12 月上旬から掲載されている HP 画面が紹介され、今後ブラッシュアップしてゆくと説明があった。MOU に基づく日韓台の連携については HP にバナーを貼ることから開始していること、国際シンポのルールを整備したことなどが報告された。

商標管理委員会：文書で報告された。今年度は標準法の第 1 号が公開され、現在商標会員として 1 社と相談中であると報告された。

九州支部：平成 24 年 1 月 27 日に大気環境学会と共催で研究発表会を開催したこと、来年度大会の準備を開始したことなどが佐藤委員から報告された。

東北支部：文書により報告された。

関西支部：平成 25 年 3 月 7 日に見学会を計画していること等が東委員から報告された。

法人化検討 WG：中井代表より、改めて法人化のメリット・デメリットについて、また NPO 化と比較検討した結果、一般社団法人としての準備を開始した旨説明された。定款作成案にあたっては、現行の会則に可能な限り準ずることを方針とし、公証役場の指導を受けながら作成中であると報告された。現行会則との主な変更点は支部長、評議員の位置づけ、事業年度開始を 10 月からとすること等であると説明があった。事業年度の開始

時期の変更にあたり、法人への移行の際の会費の取り扱いについて議論があり、検討を続けることとした。

事務局：今年度の事務局活動について中島事務局長より報告があった。

3) 平成 24 年度中間収支報告

松木会計より 12 月 3 日付の中間収支について、年度末までの支出見込み、委員会等活動費の返還見込みを含め、現時点では 20 万円程度の繰り越しとなる見込みであると報告があった。

4) 評議員改選について

事務局から評議員の推薦状況について法記憶があった他、評議員が役員になった場合はその期間の評議員資格が停止される旨の説明があった。

5) 平成 24 年度中間収支報告

新役員が紹介され、各会議への出席義務について説明があった。これに対し、法人化後の旅費の扱いについて検討が必要であるとの意見が出された。

6) 平成 25 年度事業計画案

中井次期会長より総会資料に基づき、事業計画案の説明があった。

7) 平成 25 年度予算案

中井次期会長より予算案が提示され、単年度で赤字にしないよう、委員会等活動費を今年度の半分

以下としたこと、会費の見直しについては年度途中で状況を見て判断したいと説明された。

8) 表彰関係報告

今年度大会での表彰について報告があった。平成 23 年度大会長奨励賞口頭発表部門については吉田知之ら、森康祐らが、平成 24 年度査読者賞には小林智、雨谷敬史両会員が受賞する旨報告された。また論文賞は徳村雅弘ら「フォトフェントン反応を用いた気液接触型の新規空気清浄法の開発」が選ばれたとの報告があった。

9) 平成 25 年度学術大会

佐藤博次期大会長から、次年度大会は平成 25 年 12 月 5・6 日に佐世保市内で開催予定との報告があり、会場へのアクセス等の紹介があった。

10) その他

・中井次期会長より、各委員会等の活動計画については、次年度第 1 回役員会で検討することとし、活動計画案及び委員の検討を開始するよう指示があった。

・中井副会長より、バーゼルで開催の ISEE, ISSES, ISIAQ ジョイントミーティングでのシンポジウムの募集があり、本会も参加して 2 件の応募をしていることが報告され、プレゼンターの募集があった。

以上